







様式第3 (第4条関係)

議 長	副議長	事務局長	次 長	書 長	吉田	保存区分
						永・10 5・1

令和 8年 3月 16日

大口町議会議長 齋 木 一三 様

大口町議会議員 松 本 佳 子



令和7年度政務活動費実績報告について

大口町議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条の規定に基づき、別紙のとおり令和7年度政務活動費実績報告書を提出します。

様式第3別紙1 (第4条関係)

令和7年度政務活動費実績報告書

議員氏名 松本佳



1 政務活動費の額 120,000円・・・①

2 政務活動費の対象となる経費の内訳 (単位：円)

経費の区分	金額	備考
1 調査研究費		
2 研修費	120,000円	地方議会議員セミナー (計3講座145,020円の うち120,000円を計上)
3 広報費		
4 広聴費		
5 要請・陳情活動費		
6 会議費		
7 資料作成費		
8 資料購入費		
9 事務費		
10 事務所費		
11 人件費		
合 計	120,000円	

3 対象期間 令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

4 交付決定額 120,000円・・・②

5 交付済額 0円・・・③

6 交付残額 0円・・・②-③-①

※年度末に提出する場合は交付残額を不用額と読み替える。

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

議員氏名： 松 本 佳



領収書整理票

整理番号	1-1				
経費の区分	1. 調査研究費	○	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率		按分後金額		

※証拠資料は別添のとおり

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

様式第3別紙2（第4条関係）

議員氏名：松本佳子



政務活動費支出明細書

整理番号	年月日	内容	経費の区分	支出額	備考
1-1	R7(2025) 5月9日	地方議会議員セミナー 受講料	研修費	25,000円	
1-2	R7(2025) 5月15日	地方議会議員セミナー 交通費 名古屋鉄道 柏森⇒名鉄名古屋	研修費	570円	領収書 なし
1-3	R7(2025) 5月15日	地方議会議員セミナー 交通費 JR東海 名古屋⇒品川	研修費	11,100円	
1-4	R7(2025) 5月15日	地方議会議員セミナー 交通費 JR東海 東京⇒名古屋	研修費	11,100円	
1-5	R7(2025) 5月15日	地方議会議員セミナー 交通費 名古屋鉄道 名鉄名古屋⇒柏森	研修費	570円	領収書 なし

※年月日は、支出事実のあった年月日を記載する。

※内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

※備考は、内容を裏付けるもの（案内状、名刺、配布資料、作成印刷物等）を貼付した場合に、添付の旨を記載する。

様式第3別紙2（第4条関係）

議員氏名：松 本 佳 子



政務活動費支出明細書

整理 番号	年月日	内容	経費の 区分	支出額	備考
2-1	R7(2025) 6月15日	地方議会議員セミナー 受講料	研修費	25,000円	
2-2	R7(2025) 8月21日	地方議会議員セミナー 交通費 名古屋鉄道 柏森⇒名鉄名古屋	研修費	570円	領収書 なし
2-3	R7(2025) 8月21日	地方議会議員セミナー 交通費 JR東海 名古屋⇒東京	研修費	11,100円	
2-4	R7(2025) 8月21日	地方議会議員セミナー 交通費 JR東海 東京⇒名古屋	研修費	11,100円	
2-5	R7(2025) 8月21日	地方議会議員セミナー 交通費 名古屋鉄道 名鉄名古屋⇒柏森	研修費	570円	領収書 なし

※年月日は、支出事実のあった年月日を記載する。

※内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

※備考は、内容を裏付けるもの（案内状、名刺、配布資料、作成印刷物等）を貼付した場合に、添付の旨を記載する。

様式第3別紙2（第4条関係）

議員氏名：松 本 佳



政務活動費支出明細書

整理番号	年月日	内容	経費の区分	支出額	備考
3-1	R7(2025) 9月30日	地方議会議員セミナー 受講料	研修費	25,000円 ✓	
3-2	R7(2025) 10月29日	地方議会議員セミナー 交通費 名古屋鉄道 柏森⇒名鉄名古屋	研修費	570円	領収書 なし ✓
3-3	R7(2025) 10月29日	地方議会議員セミナー 交通費 JR東海 名古屋⇒東京	研修費	11,100円 ✓	
3-4	R7(2025) 10月30日	地方議会議員セミナー 交通費 JR東海 東京⇒名古屋	研修費	11,100円 ✓	
3-5	R7(2025) 10月30日	地方議会議員セミナー 交通費 名古屋鉄道 名鉄名古屋⇒柏森	研修費	570円	領収書 なし ✓

※年月日は、支出事実のあった年月日を記載する。

※内容欄には、政務活動が特定できるよう、年月日、場所、活動内容などが明確になるよう記載する。

※備考は、内容を裏付けるもの（案内状、名刺、配布資料、作成印刷物等）を貼付した場合に、添付の旨を記載する。

# 領収書

2025年5月9日

松本 佳子 様

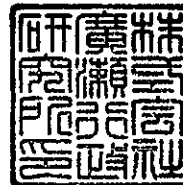
金額

✓ ¥ 25,000

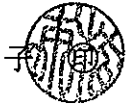
但 2025年5月15日 セミナー受講料として  
上記正に受領いたしました

〒112-0011  
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所  
登録番号: T2011001095530



議員氏名： 松 本 佳 子



領収書整理票

整理番号	1-3				
経費の区分	1. 調査研究費	<input type="radio"/>	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率		按分後金額		
※証拠資料は別添のとおり					

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

領収書  
RECEIPT

宛名  
RECEIVED FROM

大口町議会

松本佳子

様

お預かり番号  
RESERVATION NUMBER 2004

金額計  
TOTAL AMOUNT ¥11,100 (10%・税込)  
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容  
DETAIL 乗車券類のご購入代金  
TICKETS PRICE

購入日  
DATE OF PURCHASE 2025年5月10日

乗車日  
DATE OF DEPARTURE 2025年5月15日

取扱カード会社  
CARD COMPANY MUFG

クレジットカード番号  
CARD NUMBER XXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種  
利用区間

のぞみ212号  
名古屋  
FROM

品川  
TO

東海旅客鉄道株式会社  
Central Japan Railway Company  
登録番号 T3180001031569



議員氏名： 松 本 佳



領収書整理票

整理番号	1-4				
経費の区分	1. 調査研究費	○	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率		按分後金額		
※証拠資料は別添のとおり					

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

領収書  
RECEIPT

宛名  
RECEIVED FROM

大口町議会

松本佳子

様

お預かり番号  
RESERVATION NUMBER 2005

金額計  
TOTAL AMOUNT

¥11,100 (10%・税込)  
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容  
DETAIL

乗車券類のご購入代金  
TICKETS PRICE

購入日  
DATE OF PURCHASE

2025年5月10日

乗車日  
DATE OF DEPARTURE

2025年5月15日

取扱カード会社  
CARD COMPANY

MUFG

クレジットカード番号  
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種  
利用区間

のぞみ455号  
東京  
FROM

名古屋  
TO

東海旅客鉄道株式会社  
Central Japan Railway Company  
登録番号 T3180001031569



議員氏名： 松 本 佳



領収書整理票

整理番号	2-1				
経費の区分	1. 調査研究費	<input type="radio"/>	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率		按分後金額		
※証拠資料は別添のとおり					

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

# 領収書

2025年6月15日

松本 佳子 様

金額

✓ ¥ 25,000

但 2025年8月21日 セミナー受講料として  
上記正に受領いたしました

〒112-0011  
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所  
登録番号: T2011001095530



議員氏名： 松 本 佳



領収書整理票

整理番号	2-3				
経費の区分	1. 調査研究費	<input type="radio"/>	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率	50.00%	按分後金額	11,100 円	
※証拠資料は別添のとおり					

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

領収書  
RECEIPT

宛名  
RECEIVED FROM

松本佳子 社本興七

様

お預かり番号  
RESERVATION NUMBER 2010

金額計  
TOTAL AMOUNT

¥22,200 (10%・税込)  
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容  
DETAIL

乗車券類のご購入代金  
TICKETS PRICE

購入日  
DATE OF PURCHASE

2025年7月21日

乗車日  
DATE OF DEPARTURE

2025年8月21日

取扱カード会社  
CARD COMPANY

MUFG

クレジットカード番号  
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種  
利用区間

のぞみ66号  
名古屋  
FROM

東京  
TO

東海旅客鉄道株式会社  
Central Japan Railway Company  
登録番号 T3180001031569



様式第3別紙3 (第4条関係)

議員氏名： 松 本 佳 子



領収書整理票

整理番号	2-4				
経費の区分	1. 調査研究費	○	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率	50.00%	按分後金額	11,100 円	

※証拠資料は別添のとおり

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

領収書  
RECEIPT

宛名  
RECEIVED FROM

松本佳子 社本興七

様

お預かり番号  
RESERVATION NUMBER 2011

金額計  
TOTAL AMOUNT

¥22,200 (10%・税込)  
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容  
DETAIL

乗車券類のご購入代金  
TICKETS PRICE

購入日  
DATE OF PURCHASE

2025年7月21日

乗車日  
DATE OF DEPARTURE

2025年8月21日

取扱カード会社  
CARD COMPANY

MUFG

クレジットカード番号  
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種  
利用区間

のぞみ259号  
東京  
FROM

名古屋  
TO

東海旅客鉄道株式会社  
Central Japan Railway Company  
登録番号 T3180001031569



議員氏名： 松 本 佳



領収書整理票

整理番号	3-1				
経費の区分	1. 調査研究費	○	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率		按分後金額		

※証拠資料は別添のとおり

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

# 領収書

2025年9月30日

松本 佳子 様

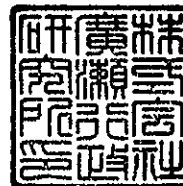
金額

¥ 25,000

但 2025年10月29日 セミナー受講料として  
上記正に受領いたしました

〒112-0011  
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所  
登録番号: T2011001095530



様式第3別紙3 (第4条関係)

議員氏名： 松 本 佳



領収書整理票

整理番号	3-3				
経費の区分	1. 調査研究費	○	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率		按分後金額		

※証拠資料は別添のとおり

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

領収書  
RECEIPT

宛名  
RECEIVED FROM

大口町議会議員

松本 佳子

様

お預かり番号  
RESERVATION NUMBER 2014

金額計  
TOTAL AMOUNT

¥11,100 (10%・税込)  
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容  
DETAIL

乗車券類のご購入代金  
TICKETS PRICE

購入日  
DATE OF PURCHASE

2025年10月11日

乗車日  
DATE OF DEPARTURE

2025年10月29日

取扱カード会社  
CARD COMPANY

MUFG

クレジットカード番号  
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種  
利用区間

のぞみ212号  
名古屋  
FROM

東京  
TO

東海旅客鉄道株式会社  
Central Japan Railway Company  
登録番号 T3180001031569



議員氏名： 松 本 佳



領収書整理票

整理番号	3-4				
経費の区分	1. 調査研究費	<input type="radio"/>	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費
	5. 要請・陳情活動費		6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費
	9. 事務費		10. 事務所費	11. 人件費	
	按分率		按分後金額		
※証拠資料は別添のとおり					

※領収書が重ならないように貼付すること。領収書が大きい場合は、記入欄を一つにまとめたり、別添することも可能である。

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載し、「経費の区分」は該当する経費に○を記載すること。

※按分した場合は、按分率欄及び按分後金額を記載すること。

領収書  
RECEIPT

宛名  
RECEIVED FROM

大口町議会議員

松本 佳子

様

お預かり番号  
RESERVATION NUMBER 2015

金額計  
TOTAL AMOUNT

¥11,100 (10%・税込)  
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容  
DETAIL

乗車券類のご購入代金  
TICKETS PRICE

購入日  
DATE OF PURCHASE

2025年10月29日

乗車日  
DATE OF DEPARTURE

2025年10月30日

取扱カード会社  
CARD COMPANY

MUFG

クレジットカード番号  
CARD NUMBER

XXXXXXXXXXXXXXXXXX

列車名・券種  
利用区間

のぞみ465号  
東京  
FROM

名古屋  
TO

東海旅客鉄道株式会社  
Central Japan Railway Company  
登録番号 T3180001031569



様式第4（第4条関係）

議員氏名： 松 本 佳



支払証明書

整理 番号	支払 年月日	政務活動 費充当額	支払先	経費の 区分	経費内容	備 考
1-2 1-5	R7(2025) 5/15	✓ 1,140 円	名古屋鉄道 株式会社	研修費	交通費	
2-2 2-5	R7(2025) 8/21	✓ 1,140 円	名古屋鉄道 株式会社	研修費	交通費	
3-2	R7(2025) 10/29	✓ 570 円	名古屋鉄道 株式会社	研修費	交通費	
3-5	R7(2025) 10/30	✓ 570 円	名古屋鉄道 株式会社	研修費	交通費	

※「整理番号」については、政務活動費活動費支出明細書の整理番号と一致させること。

※按分により政務活動費を充当した場合には、「備考」欄に、支払い総額及び按分率を記載すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和8年 3月 16日

議員氏名 松 本 佳 子



【様式第4号 令和7年5月15日 支払証明書 交通費の根拠】

整理番号 1-2、1-5

ルート3 06:27発→06:54着 27分 (乗車27分)

乗換: 0回



ic優先: 570円

22.3km

ルート保存

定期券

ルート共有

印刷する

06:27 発 柏森 時刻表 地図

9駅

名鉄犬山線急行  
河和行

[発] 3番線 → [着] 4番線

570円

06:54 着 名鉄名古屋 時刻表 地図

ルート3 20:11発→20:36着 25分 (乗車25分)

乗換: 0回



ic優先: 570円

22.3km

ルート保存

定期券

ルート共有

印刷する

20:11 発 名鉄名古屋 時刻表 地図

8駅

名鉄犬山線準急  
新鶴沼行

[発] 1番線 → [着] 2番線

570円

20:36 着 柏森 時刻表 地図

【様式第4号 令和7年8月21日 支払証明書 交通費の根拠】

整理番号 2-2、2-5

**ルート3** 06:27発→06:54着 27分 (乗車27分)

乗換: 0回



IC優先: 570円

22.3km

ルート保存

定期券

ルート共有

印刷する

06:27 **発** 柏森 時刻表 地図

9駅

名鉄犬山線急行  
河和行

[発] 3番線 → [着] 4番線

570円

06:54 **着** 名鉄名古屋 時刻表 地図

**ルート1** 20:29発→20:54着 25分 (乗車25分)

乗換: 0回



IC優先: 570円

22.3km

ルート保存

定期券

ルート共有

印刷する

20:29 **発** 名鉄名古屋 時刻表 地図

7駅

名鉄犬山線急行  
新鶴沼行

[発] 1番線 → [着] 2番線

570円

20:54 **着** 柏森 時刻表 地図

【様式第4号 令和7年10月29日 支払証明書 交通費の根拠】

整理番号 3-2

ルート3 06:27発→06:54着 27分 (乗車27分)

乗換: 0回



IC優先: 570円

22.3km

ルート保存

定期券

ルート共有

印刷する

06:27 発 柏森 時刻表 地図

9駅

名鉄犬山線急行  
河和行

[発] 3番線 → [着] 4番線

06:54 着 名鉄名古屋 時刻表 地図

570円

【様式第4号 令和7年10月30日 支払証明書 交通費の根拠】

整理番号 3-5

ルート2 19:59発→20:24着 25分 (乗車25分)

乗換: 0回



IC乗先: 570円

22.3km

ルート保存

定期券

ルート共有

印刷する

19:59 名鉄名古屋 時刻表 地図

7駅

名鉄犬山線急行  
新鶴沼行

[発] 1番線 → [着] 2番線

570円

20:24 柏森 時刻表 地図

様式第5（第4条関係）

政務活動費視察研修・研修会等報告書

議員氏名： 松 本 佳 子

整理番号	1-1～1-5
訪問先 (所在地)	東京都豊島区東池袋1-20-10 としま区民センター 505号室
日程	令和7年5月15日から令和7年5月15日（1日）
目的・テーマ	地方議会議員セミナー 参加
内容・成果 (具体的に)	<p>議会運営委員会副委員長を拝命することになり、議会運営の基礎を学ぶためにこのセミナーを受講した。</p> <p>◎セミナー内容：議長・委員長のための議会運営  1) 議長・委員長の権限 (1)秩序保持権 (2)議事整理権  2) 通告書と通告外、議題外の発言  3) 不穏当・不規則発言 4) 傍聴人 5) 動議・議事進行発言  6) 日程作成 7) 議会だよりと議長の権限  8) 議長・委員長の発言と裁決権 9) 選挙・互選</p> <p>議会運営の基本的なことがわかっていないことを痛感した。会議規則や議員必携の読み込みが必要だと感じた。</p> <p>◎セミナー内容：議会運営委員会の役割と権限  1) 議会運営委員会の所管と権限  2) 議会運営委員の選出方法と委員外議員活用・会派離脱との関係  3) 議会運営委員会の答申と法的拘束力  4) 議長等との兼職の是非  5) 議会運営委員会と常任・特別委員会、協議等の場との関係</p> <p>他市町の議員が運営に困った場合の事例を質問した内容がわからなかった。圧倒的な経験が不足していることを実感した。例規の把握が大前提。他市町の事例集等も参考に経験不足を座学で補うことが必要と感じた。</p>

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載

※「所在地」は市区町村まで記載

# 議会運営マスター講座

5月15日(木) in 東京



10:00~13:00

## 議長・委員長のための議会運営

1. 議長・委員長の権限 (1)秩序保持権 (2)議事整理権
2. 通告書と通告外、議題外の発言
3. 不穏当・不規則発言 4. 傍聴人 5. 動議・議事進行発言
6. 日程作成 7. 議会だよりと議長の権限
8. 議長・委員長の発言と裁決権
9. 選挙・互選

14:00~17:00

## 議会運営委員会の役割と権限

1. 議会運営委員会の所管と権限  
(1)議会の運営に関する事項  
(2)議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項  
(3)議長の諮問に関する事項
2. 議会運営委員の選出手法と委員外議員の活用・会派離脱との関係
3. 議会運営委員会の答申と法的拘束力
4. 議長等との兼職の是非
5. 議会運営委員会と常任・特別委員会、協議等の場との関係



講師：廣瀬 和彦

【(株)廣瀬行政研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事】

慶徳義塾大学大学院法学研究科修士課程卒。明治大学法学部卒。明治大学政経学部講師・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師等として活躍。著書は、「Q&A議会運営ハンドブック」「地方議員ハンドブック」「政務調査費ハンドブック」(すべてぎょうせい)など多数。

(株)廣瀬行政研究所

様式第5（第4条関係）

政務活動費視察研修・研修会等報告書

議員氏名： 松 本 佳 子

整理番号	2-1～2-5
訪問先 (所在地)	東京都豊島区東池袋1-20-10 としま区民センター 504号室
日程	令和7年8月21日から令和7年8月21日（1日）
目的・テーマ	地方議会議員セミナー 参加
内容・成果 (具体的に)	<p>◎セミナー内容：議員のコンプライアンス</p> <p>1) 議員の失職事由 2) 公民権停止に繋がる事由 3) 政治資金の量的・質的制限と公開 4) 議員として活躍するための規律～ハラスメント、多数決濫用 5) 地域のインフルエンサーである議員と権利侵害～名誉棄損 6) 議員の守秘義務</p> <p>政治資金管理や寄附行為等、議員としてお金にクリーンであるべき基本的なことを学んだのち、ハラスメントに関し基本的な定義等を確認できた。</p> <p>◎セミナー内容：ハラスメント防止条例の作り方</p> <p>1) 法令におけるハラスメント規律の対象 2) 条例を制定する所以について 3) 条例の規律対象 4) 目的規定・定義規定 5) 相談・調査手続 6) ハラスメントの認定 7) 実効性の担保</p> <p>一口にハラスメント防止条例といっても、規律対象を議員のみとするのか、公職者も含むのか、議員と職員とするのか、また政治分野全般に係る人（有権者等）も含むのか、様々あることがわかった。中でも「議員」が行うハラスメントを対象とする議会が多い。セミナーを通じ、自分がよいと思っても、それが相手にとって不快と感じた時点でハラスメントであり、1対1ではなく、その場に居合わせた全員に対してのハラスメントであることも確認できた。今後の条例策定に向けて生かしていきたい。</p>

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載

※「所在地」は市区町村まで記載

# 議員のコンプライアンスと ハラスメント条例の作り方

同時開催！  
オンラインセミナー

8月21日  
(木)  
in 東京

10:00~13:00

## 議員のコンプライアンス

1. 議員であり続けるための規律（住所要件、請負制限）
2. 政治家であり続けるための規律（あっせん収賄、寄附禁止等）
3. 政治資金の公開
4. 議員として活躍するための規律（ハラスメント 多数決の濫用の問題を含む。）
5. 地域のインフルエンサーである議員と権利侵害（名誉毀損、侮辱）
6. 議員の「守秘義務」
7. その他

14:00~17:00

## 議会におけるハラスメント条例の作り方

1. 法令（均等法、育休法、労働施策総合推進法）における規律
2. ハラスメント条例を制定する意味
  - (1) 職員に対するハラスメントの防止
  - (2) 議員間のハラスメント、票ハラ防止
3. 条例の規律対象
4. 定義規定
5. 調査手続
6. 違反
7. 実効性の担保
8. その他



講師：太田雅幸

【弁護士】

昭和36年生まれ。東京大学法学部卒業後、昭和59年衆議院法制局に入局。20年にわたり内閣委員会、地方行政委員会等を担当し、法律案や修正案の作成に携わる。会員契約適正化法案、公職選挙法やNPO法などの改正案、年金改正法案や有事法案の修正案の作成に参画。この間、最高裁判所司法研修所で司法修習(49期)。2005年11月退官し、弁護士登録(東京弁護士会)。現在、訴訟実務のほか、各自治体で条例立案支援や研修に携わる。主な著書に「政策立案者のための条例づくり入門」「情報公開法の解説」等がある。

(株)廣瀬行政研究所

様式第5（第4条関係）

政務活動費視察研修・研修会等報告書

議員氏名： 松 本 佳 子

整理番号	3-1～3-5
訪問先 (所在地)	東京都豊島区西池袋 2-37-4 としま産業振興プラザ イケビズ 美術室
日程	令和7年10月29日から令和7年10月29日（1日）
目的・テーマ	地方議会議員セミナー 参加
内容・成果 (具体的に)	<p>◎セミナー内容：災害時の三者連携の実態と課題</p> <p>1) 阪神淡路大震災から30年の災害ボランティア・NPOの歩み 2) 社協による災害ボランティアセンターの設置と課題 3) 東日本大震災における民民・官民連携の課題～JVOADの設立 4) 相次ぐ災害における三者連携による対応 5) 能登半島地震における課題～災害対策基本法の改正と防災庁設置準備 6) 行政に期待すること</p> <p>今回、災害ボランティアを立ち上げた方の生の声を聞くことで、共助のために何が必要か、何をすべきなのかをお話いただいた。強いリーダーシップとまとめる力が大切なこと、また、地域における防災リーダーの必要性を学んだ。</p> <p>◎セミナー内容：防災DXと地域防災</p> <p>1) DXとは何か、なぜ防災DXが必要か 2) 防災とは何か、改めて考える 3) 地域防災におけるデジタル技術の活用 4) 能登半島地震に見る防災DXの新たな挑戦 5) 防災DXに関する国の動向と今後の展開</p> <p>デジタル社会化している現代において、その技術をどのように効果的に防災に取り入れるのか、また発災時にどう活用していくのか、迅速に諸対応をしていくことが求められる災害現場において、自衛隊、各ボランティア組織や団体それぞれの役割はあるのだが、横のつながりができていない部分を、DXを活用することで情報共有を図るなど最先端の取組を学んだ。</p>

※「整理番号」には支出明細書の該当する整理番号を記載

※「所在地」は市区町村まで記載

# 地域の防災力向上に向けた 議員の役割と実務のポイント

10月29日(水) in 東京

10:00~13:00

## 災害時の三者連携(行政・社協・NPO等)の実態と課題

1. 阪神・淡路大震災から30年の災害ボランティア・NPOの歩み
2. 社協による災害ボランティアセンターの設置と課題
3. 東日本大震災における民民・官民連携の課題 ~JVOADの設立
4. 相次ぐ災害における三者連携による対応 ~災害中間支援組織の役割
5. 令和6年能登半島地震における課題  
~災害対策基本法の改正と防災庁設置準備
6. 行政に期待すること



講師: 栗田暢之

【認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア  
支援団体ネットワーク(JVOAD) 代表理事】

1964年岐阜県生まれ。1995年阪神・淡路大震災を契機に設立した認定NPO法人レスキューストックヤード代表理事を務め、現在までに50箇所を超える自然災害の現場で支援活動に携わる。2011年東日本大震災の教訓を踏まえ、民間支援団体間の連携強化や災害中間支援組織の設置、行政・社協等多様なセクター間の連携・協働・調整による被災地全体の支援のめ・むらをなくすことを目的に、NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)が2016年に設立され、代表理事に就任。防災庁設置準備アドバイザー会議専門委員、内閣府「避難生活支援・防災人材育成エコシステム構築の具体化に向けた検討会」座長はじめ、関係省庁や地方自治体の各種検討会委員、岐阜大学、至学館大学、愛知医科大学の非常勤講師も務める。

14:00~17:00

## 防災DXと地域防災



講師: 白田裕一郎

【国立研究開発法人防災科学技術研究所社会防災研究領域長  
総合防災情報センター長/防災情報研究部門長】

1973年長野県生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒、同大学院政策・メディア研究科修了。博士(政策・メディア)。地球観測衛星受信システム開発やリスクコミュニケーション支援システム開発を経て、2006年防災科学技術研究所入所。産官学民共創による防災力向上のための研究開発に従事するとともに、筑波大学教授(協働大学院)としての人材育成、AI防災協議会理事長・防災DX官民共創協議会理事長としての防災DXの推進に努める。

(株)廣瀬行政研究所